日本の英語村実態調査
Fieldwork on ‘English Villages’ in Japan

大場　智美
Tomomi Ohba

要旨 :「英語村」は非英語圏で疑似英語圏を体感できる大規模な教育施設であり、利用者はそこで英語を英語で学ぶ。2020 年に東京オリンピックを迎えるにあたり、日本ではさらなる英語教育の推進が望まれている。韓国の英語村ムーブメントを受けて、日本では民間業者が主体となって英語村が活発な動きを見せている。今回日本四カ所の「英語村」を実際に訪れ、レッスンを受講する傍ら、職員に施設の特色やオリンピック後の英語村存続の方策などについてインタビュー調査を行った。

キーワード **:** 疑似英語圏、モノリンガル教授法、アクションリサーチ、実態調査

Abstract: ‘English Village’ is a large educational facility where people study English by monolingual method instructed by native-speakers under the circumstance similar to an English-speaking country. As Japan hosts the Tokyo Olympics in 2020, English language education is a key for demonstration of good hospitality to visitors outside the country. After ‘English Village’ movement in South Korea, corporations now build it in order to promote English language education in Japan. In this investigation, the author and her seminar students conducted fieldwork using action research technique: they visited four actual sites, received lessons and interviewed staff there.

Keywords: Quasi English-Speaking countries, monolingual method, action research, fieldwork.

１．はじめに

グローバリゼーションや IT 技術の進歩に伴い、世界中で英語教育が重点的に行われている。二十世紀の終わりに、日本と韓国に「英語公用語論」が起こり（「２１世紀日本の構想」懇談会：2000、Jae：2011）、結果的に両国とも英語を公用語化する案を見送ったのだが、当時留学ブームが起きていた韓国では、留学出来る富裕層と行きたくても行けない世帯層の教育格差緩和のために、政府や自治体が主となり国内にいくつもの疑似英語圏である「英語村」を建設した。英語村は非英語圏で疑似英語圏を体感できる大規模な建物であり、一歩足を踏み入れたらまるで英語圏にいるかのような造りになっている。建物内には疑似の空港、銀行、郵便局などがある一方、実際に物を販売している小売店などが学校に併設されており、すべて英語話者によって運営されている仕組みとなっている。学習者はそこに一定期間滞在して、授業だけではなく英語で空港や銀行でのやりとりを行ったり、英語を使って店で品

物を購入するなど、あたかも英語圏にいるかのような状況で「英語で」英語を学ぶ。韓国の英語村は規模が大きく、中には実際に「村」と呼べるほどの大きさの施設もあった。全盛期には約 60 か所の「英語村」が存在した（澁谷など：2014）が、建物維持に多額の費用がかかることから、英語村は次々と閉鎖されていく。

一方、日本では 2020 年にオリンピックが開催されることもあり、ここ近年次々と民間主体の英語村がオープンされている。本稿は、ゼミナール学生との共同研究[1]によるアクションリサーチを元に、日本各地でオープンされた「英語村」の実態調査の報告である。学生とともに大阪府「OSAKA ENGLISH VILLAGE（略称 OEV）」、東京都「Tokyo Global Gateway（略称 TGG）」、福島県「British Hills（略称 FBH）」、ならびに静岡県「Language Village（略称 SLV）」の四カ所に赴き、学生が実際のレッスンを受講する傍ら、筆者は英語村担当者へインタビュー調査を行い、また OEV と TGG では学生も交えて職員との意見交換も行った。学生による利用者視点と専門家（大場）視点の両方から複眼的に英語村実態調査を行い、それぞれの場所のプログラムなどの特異点や相違点を分析した。

写真 1. 韓国英語村寮の立て看板

２．研究背景

日本で民間主体の英語村が次々とオープンされている背景に訪日外国人の増加、2020 年に開催される東京オリンピック、ならびに海外で繰り返されるテロへの懸念などがある。2018 年に訪日外国人は 31,191,856 名にのぼり、また出国日本人も 18,954,031 名と過去最高を記録した（日本政府観光局：2019）。2020 年にオリンピックが開催されることから、例えば日本語が通じない外国人が道で迷っている時に案内することが可能な簡単なコミュニケ

ーション型英会話の習得や、外国人と話すことに対する不安を払拭することが国民レベルで課題となっている。また、2016 年アメリカ合衆国オーランド銃乱射事件、2017 年ロンドンテロ事件、2019 年ニュージーランドモスク銃乱射事件など、「いつどこで事件に巻き込まれるかわからない」ことから、海外研修や留学を躊躇する学生および学生の保護者が一定数いたとしても何ら不思議ではない。

かつて「駅前留学」なる英会話学校[2]のキャッチコピーが流行ったが、英語村は疑似英語圏を形成しているだけに規模が非常に大きい。日本国内でありながら英語村でオーセンティック（本物）に近い状況で英語話者（ネイティブスピーカー）と実際にコミュニケーションをはかり、自然なスタイルで英語とコミュニケーションを上達させていく…これが英語村に共通するコンセプトであり、根底にはモノリンガル教授法がある。モノリンガル教授法は、母語を使用せずに学習目的語のみを使用して「直接的に」言語を教える方法であり、1960 年代にアメリカをはじめとした英語圏で流行した英語教授法であった（Berlitz : 2016）。果たして、「実際に英語村でレッスンを受講したら本当に英語力が向上するのであろうか」…この疑問をもとに、学生と共同で実地調査を行った。

３．研究調査

今回の実地調査の大きな利点は学生との共同研究である。研究者が単独で民間業者にアポイントを取り、インタビューを行うのはなかなか難しい。また、研究者自身が英語教育の専門家であり、すでに英語を習得済みであるがゆえに、レッスンを受講するとかえって調査先の迷惑（冷やかしなど）となることすらある。その点、英語習得途中の学生にレッスンを受講しその内容を分析させることで、利用者視点からレッスン内容を吟味することが出来る。また、学生がレッスンを受講することを先方に伝えたうえでインタビューを申し込んだところ、快諾されたことも調査のメリットであったことは否定出来ない。

日本四カ所の英語村に実際に赴き、実態調査を実施するにあたって、それぞれの施設の概要と特色の他に、下記四点を中心に各施設の担当者にインタビューを行った。

1. レッスン内容
2. 英語村に付随する「文化」の扱い
3. 英語指導者の質の保持
4. （オリンピック後の）英語村維持の方策

レッスンに関しては、ゼミナール学生が大学生から社会人向けの、主に初心者から中級者用プログラムを一日～二日分受講した。TGG は午前と午後の一日プログラムを受講し、OEV は一日目は午後、二日目は午前中のプログラムに参加した。FBH と SLV は現地に宿泊施設が併設されており、そこに宿泊してレッスン以外の時間も教員やスタッフと共に生活しながら英語を使うような場所として機能していた。FBH は一泊二日、SLV は二泊三日のプロ

グラムを受けた。

4. 実態調査

2018 年 10 月から 2019 年 12 月にかけて、東京グローバルゲートウェイ（TGG）とオオサカイングリッシュビレッジ（OEV）にはゼミナールの三年生と四年生が一回ずつ訪問し、また福島県のブリティッシュヒルズ（FBH）と静岡県のランゲッジビレッジ（SLV）は四年生が一名ずつレッスンを受講した。OEV と TGG は比較的町中で駅のそばにあるのに対し、FBH と SLV は新幹線の駅から施設の専用バスで片道 40 分位かかる都会から離れた多自然地域にある。以下はインタビュー調査内容を中心に構成されている。

4-1. オオサカイングリッシュビレッジ（OEV）

訪問日時：2019 年 9 月 1 日、2 日
住所：大阪府吹田市千里万博公園２－１（EXPOCITY 内）
インタビュー対象者：道海　望氏、広川　愛美氏
調査者：大場　智美、小野澤　好、川村　健太郎、橋本　眞士、村田　泰佑

表 1. OEV 概要

設立年度	2015 年
大きさ	約 4,845 ㎡（4,844.99m^2）(EXPOCITY 八つの大型エンターテイメント施設のうちの１つ)
営業時間	10:00-18:00
運営会社	株式会社 YBM JAPAN（韓国の外国語教育会社 YBM の傘下）
利用料金	1 レッスン 1,500 円（税抜）（レッスン受講数などによって変動あり）
収容人数	約 200 名

OEV はかつて大阪府吹田市の万博記念公園に付帯していた遊園地エキスポランドが 2009 年に破産し、その後 2015 年商業施設に併設された形でオープンした。その経緯は、大阪府がエキスポランド跡地の利用者を募集した際、教育的施設を一つ含めることが条件であったことから建設された。OEV は２階建ての建物で、韓国パジュの英語村同様に入口に「入国ゲート」があり、そこで OEV 独自のパスポートを持ったうえで入場する。館内にはアメリカの日常や歴史、文化をテーマにしたシチュエーションルーム（教室）が、全部で 23 種類あり（詳細は付録 1 を参照）、それぞれのルームでは、英語ネイティブインストラクターとともに、例えば「Post Office」では郵便の出し方に関するやり取りを実際に行うなど、テ

ーマに沿った内容の体験が可能である。館内 1 階の中央にはタイムズスクエアの絵が一面に描いてあり、実際のタクシーやバスの模型も置いてある。その場所も「Transportation」のレッスンとして使用され、インストラクターがガイドのように旗を持って場所を案内しながら、疑似的に観光に関する英語を教えていく。1 レッスンは 30 分間で、入場者は当日のスケジュール表を参考に受講したいレッスンを受けにその教室に行くシステムである。

レッスンは 3 レベルに分かれており、A は初級、アルファベットや簡単な英単語を知っている人向け、B は中級、基本的な英会話や、自分の感情や要求を簡単な英語で説明できる人向け、C は上級、日常的なトピックを英語で伝えることができて、指示された内容を英語でディスカッションできる人向けに設定されている。なお、別途 16 歳以上対象の大人向けカリキュラムもある。利用者は小学生～高校生が主力であるが、季節毎に小学生未満の幼児でも楽しめるイベントも行っている。

写真 2. OEV の「White House」

2017 年当時は 18 時以降も営業を続けていたので社会人利用者もいたが、現在は 18 時で閉めていることもあり、概ね利用者のターゲットを英語教育が義務的に行われている年齢に絞っているようである。

英語ネイティブインストラクターはネイティブ教員募集の求人広告サイトなどを通して雇ったうえ、研修を行うことで質の一定保持を保っているそうだが、実際にレッスンを受講した学生からは「インストラクターによって、個人のオリジナリティがでている」とのこと

だった。

OEV の存続に関しては、詳細は後述するが TGG とは異なり期限を設けていないとのことである。利用者の 76 パーセントが小学校～高等学校であり [3]、大阪近隣の学校機関が多い。筆者たちが調査を行った日にも小学校や中学校から学年単位で団体利用している姿が見られた。しかし、TGG とは違って OEV の場合は英語教育の一環として生徒が利用しても、文部科学省で指定されている英語授業時間内には組み込まれないため、自治体から予算が取りにくい状況だが、解決策を模索中とのことだった。また、OEV 職員によると、団体利用以外にも、個人単位で買いものついでにお立ち寄りいただき、気軽に英語に触れる機会を提供できる施設でありたい…との話であった。

4-2. 東京グローバルゲートウェイ（TGG）

訪問日時：2018 年 10 月 21 日

住所： 東京都江東区青海２丁目４−３２ タイム２４ビル

インタビュー対象者：谷口 正一郎氏

調査者：大場　智美、久住　祐葵、佐藤　海人、坂本　貴彦 [4]

表 2. TGG 概要

設立年度	2018 年
大きさ	約 7,000m^2
営業時間	9:00～17:00（指定の休館日、年末年始を除く）
政策連携	東京都教育委員会
運営母体	株式会社 TOKYO GLOBAL GATEWAY ＊学研ホールディングス・市進ホールディングス・エデューレエルシーエー・一般財団法人英語教育協議会、博報堂 DY ホールディングスの 5 団体が東京都教育庁との政策的連携に基づき、株式会社 TOKYO GLOBAL GATEWAY を組成 (官民連携の独立採算事業) 。ただし、東京都教育庁が事業内容について協議・関与しながら利用者に提供しているのは、政策の主たる対象である「小学生から高校生までの学校向けプログラム」である。本文中で言及されているオトナ TGG など、上記以外のプログラムについては、株式会社 TOKYO GLOBAL GATEWAY による民間サービスとして企画・販売を行っている。
利用料金	学校利用料　半日プラン (3.5h) 3,500 円，終日プラン (7h) 6,800 円 一般個人利用については，プログラムによって異なる。最も利用者が多い、アトラクションエリアを楽しむプランは，2 時間 3,500 円 (保護者入館料 1 名 1,000 円) ＊上記利用料金は 2020 年 1 月時点 (税別)
収容人数	約 900 名 ＊ただし，同一時間帯に収容できる運営適正人数

TGG はビルの 1〜3 階部分を使用し、OEV と同様パスポートを与えられ、入口のゲートでそれを提示して建物に入る仕組みになっている。TGG は英語「を」活用するアトラクション・エリア（以下 AT エリア）と英語「で」学ぶアクティブイマージョン・エリア（以下 AI エリア）の二つに分かれている。AT エリアは「エアポートゾーン」「ホテルゾーン」「トラベルゾーン」「キャンパスゾーン」の四つに分かれ、それぞれ三つのプログラムが用意されている。エアポートゾーンでは、本物の全日本空輸株式会社（通称 ANA）の飛行機で使用されている機内座席があり、そこで飛行機内での会話や客室乗務員とのやりとりを英語で行う。ホテルゾーンでは、ホテル、店、ならびに医者でのやり取りを英語で行い、トラベルゾーンでは、旅行会社に旅行の予約を体験する。そして、キャンパスゾーンでは、カードを引き、そこに書かれている「ミッション」を元に教務課で授業の受講を相談したり、文房具を購入するデモンストレーションなどを行う。すべて、英語「を」活用して実演し、学校で学んだ英語をアウトプット（実践）することが目標である。

一方、AI エリアではプログラミング体験、ダンスパフォーマンス、ニュース番組制作など CLIL（Content and Language Integrated Learning：内容言語統合型学習）の考え方を取り込んだものもあり、内容に関する新しい学びや考え方・気付きを得ていく過程のなかで、必要な英語の語彙や表現を習得する。受講者はグループワークをしたり課題に対してディスカッションしたりと、協働性を育みながら主体的にやりとりし、英語「で」知識を学んでいく。

写真 3．ミッションカード

2018 年度の学生は一般利用プログラムの一つ，大学生向け特別プログラム（表３参照）を一日受講し、インタビュー調査を行った。一度足を踏み入れたらそこはもうアメリカ気分

の OEV とは違い、TGG は英語の標識や置かれている英語の本などから、「英語圏のどこか」を意識した作りにはなっているものの、明確な国名は出てこない。そこにはブラジルやフィリピンの本も置いてあり、人種・宗教・年齢・ジェンダーをバランスよく考慮した英語ネイティブか、もしくはネイティブに近いエージェント（英語指導者）が英語を教えている。筆者がエージェントに出身国を尋ねたところ、最初のアイスブレイキングを担当したエージェントは南アフリカ人で、株式投資を指導したエージェントはアメリカ人であった。アメリカ人エージェントはフルタイムで働いていたが、南アフリカ人エージェントは大学の留学生で、パートタイムとして TGG で働いているとのことであった。

職員の谷口氏曰く、東京都との政策と連携しているため、施設整備費の一部や賃料については東京都から補助を受けられているとのことであった。臨海副都心に建てられていることもあり、東京都教育庁との協定で, 2028 年までは事業を継続する予定で合意しているが、2028 年以降の運営については未定であるらしい。

表 3. TGG 2018 年度大学向けプログラム

時間	内容
9：00～9：15	入場・プログラム説明
9：15～9：45	自己紹介とアイスブレイキング（グループアクティビティ）
10：00～11：00	AT エリア（キャンパスゾーン）体験
11：00～11：30	AI エリアで株式投資体験
11:30～12:00	エージェントとレッスンの振り返り
13：00～14：00	昼休み（各自弁当を持参し TGG 内で食事）
14：00～15:30	全体のフィードバックおよび職員からの聞き取り調査

TGG が立地する TIME24 ビルには宿泊できる設備は無いため TGG に宿泊するプログラクは無いが、近隣のホテルに宿泊し、TGG を連日利用する学校もある。インストラクター雇用は OEV 同様ネイティブ教員募集の求人広告サイトなどを通して募集している。その後の面接を通じて英語のスキルのみならず、コミュニケーション能力や児童生徒と接する態度なども把握した上で採用することで質の一定保持を保っているとのことであった。

TGG は唯一教育委員会と政策的に連携している「英語村」である。英語の授業として活用できるよう学習指導要領上の様々な要件をクリアし、英語専業ではない特色ある民間企業が創意工夫してプログラムを作っているため、利用校の多くが校長の判断に基づき、外国語活動・英語の授業として TGG を利用している。そのこともあり、関東以外からも数多くの小学生～高校生が団体で訪れている。

4-3. ブリティッシュヒルズ（FBH）
訪問日時：2019 年 9 月 3 日
住所： 福島県岩瀬郡天栄村大字田良尾芝草１－８
インタビュー対象者：久保田　徹氏
調査者：大場　智美、佐藤　海人

表 4. FBH 概要

設立年度	1994 年
大きさ	241,256 ㎡
営業時間	宿泊型研修施設、年中無休
運営会社	学校法人佐野学園（株式会社ブリティッシュヒルズ）
利用料金	一泊 2 日食事付 50, 000 円より（Highland Life 大人向け個人研修料金）
収容人数	279 人（うち研修客 198 人、一般客 81 人）

FBH は福島県の新白河駅からバスで 45 分位の距離で、自然が豊かなところに位置する。中世英国を意識した建物造りで、研修・宿泊・料飲施設がある。設立者の佐野氏は本格的にイギリスを踏襲した語学研修施設を設立するために日本各地で候補地を選んだところ、涼しく夏でも霧の出る福島県が一番様子が似ているとのことで現場所に設置したそうである。木造づくりの施設はほぼすべてイギリスから直輸入された材料を使用しており、天井の装飾はウェッジウッド社の特注だそうである。建造物としても見ごたえがあることから、英語のレッスンの他に、一般の日帰りおよび宿泊観光客も受け入れている。

「英語村」というと韓国が有名であるが、FBH の方が歴史は古い。実は、TV ドラマ『花より男子』の撮影は FBH で行われたのだが、韓国版の同ドラマもパジュの英語村で撮影されたというエピソードがある。

FBH はパブの他に大食堂、およびスヌーカーやボードゲームが遊べる場所などがあり、レッスン後にもスタッフと英語を話せるような工夫がなされている。レッスンは通常の英会話の他に、ブリティッシュクラフト、クッキング、テーブルマナー、アロマセラピーなどの文化的要素を含んだ工芸もある（詳細は付録２参照）。「ブリティッシュヒルズ」はその名が示す通り、イギリス文化を踏襲しており、インストラクターはすべてイギリス人もしくは英連邦国出身者を採用している。OEV、TGG 同様 FBH もインストラクターの雇用は英語教員募集の求人広告サイトなどを通して雇ったうえ、研修を行うことで質の一定保持を保っているとのことであった。

FBH の広大な敷地から想像するに、相当な管理費用がかかっているのではないかと尋ねたところ、久保田氏は費用を明言しなかったが、ある程度以上の維持費がかかっているのは

想像に難しくない。どのようにして四半世紀この大きな施設を維持出来てきたのかを聞いたところ、佐野学園（神田外語グループ）グループ内での利用は勿論のこと、中学校・高等学校を中心とした教育機関に対して丁寧にセールス活動を行い、プログラムの開発を行ってきたことが鍵であるとのことであった。その他社会人の英語研修の受入や、一般宿泊での利用なども要因の一つである。

なお、２０１１年の東日本大震災時、被害自体は幸い大きなものではなかったが、その後の福島への風評被害などで一時期利用者数が大きく減少したらしい。しかし、近年「グローバル化」というキーワード、英語教育に対する変化などニーズが広がり、利用者が回復しているそうである。また、昨今の海外情勢の不安定さから安全管理の関係で国内研修に切り替えるケース等もあるとのことである。

写真 4. イギリスの曇り空のような FBH

4-4. ランゲッジビレッジ（SLV）

訪問日時：2019 年 12 月 3 日

住所： 静岡県富士市大淵４２６５−１

インタビュー対象者：秋山　昌広氏

調査者：大場　智美、坂本　貴彦

表 5. SLV 概要

設立年度	2004 年
大きさ	約 16,530m^2
営業時間	宿泊型研修施設、年中無休
運営会社	大芳産業
利用料金	一泊 2 日食事付 29,700 円より（プログラムによる）
収容人数	約 50 名

新幹線の新富士駅からバスで約 40 分、富士山のふもとに SLV はある。建物は 5 階建てで、本館の 4、5 階が宿泊所となっており、別館では中国語も教えている。SLV は調査した中で唯一英語以外の言語も教えている教育施設である。今回「日本　英語村」をインターネットで検索したところ、上位に SLV が出てきたこともあり研修に参加したのだが、ホームページに「合宿制英会話学校」と書いてあるように、英語村と英会話学校を混ぜた様な雰囲気である。施設内にはプール、テニスコートやバーベキューが楽しめる場所もある。入口には英米の旗が飾られているものの、施設の中や教室には特別英語圏のような様子はない。秋山氏曰く、SLV は施設に特別に費用はかけず、その分インストラクターやレッスン内容を充実させているそうである。SLV は FBH についで歴史が長く、ちょうど韓国で英語村ブームが起きた頃に設立されている。2011 年に東日本大震災が起きた時には、FBH の研修者を一時的に受け入れていたこともあるとの話だった。

レッスンは大まかに「会話合宿」と「文法合宿」の二タイプがあり、英語のレベルが低い受講者には基礎を養うために文法合宿を勧められる。今回学生は二泊三日の会話合宿に参加した。

インストラクターは英語圏であれば特に国は限定しない方針であり、学生がレッスンを受講した時にはアメリカ人とアイルランド人のインストラクターが指導していた。FBH 同様、レッスン後にも自然な形で英語を使用出来るように、インストラクターと一緒に食事を取ったり、映画鑑賞を行うなどのアクティビティもある。

教員の質の保持に関して特筆すべき点は、他の英語村と違って SLV は広告を使っての教員雇用は行わず、専ら勤務している教員の言づてで採用を決めているとのことである。理由

は、SLV の教育理念を理解し、静岡の片田舎でレッスン後もほぼ泊まり込みのような形で受講者のアフターケアを行えるインストラクターは多くないが、一方その環境で職務を全うした教員たちは貴重であるため、その人々からの紹介を重視しているからであった。秋山氏によると、インストラクターは大学の教育学部出身や TESOL[6] を習得した者である必要はなく、むしろ教育とは関係ない学部出身者でも、教えることへの情熱とケアスキルが高ければ積極的に採用するとのことである。

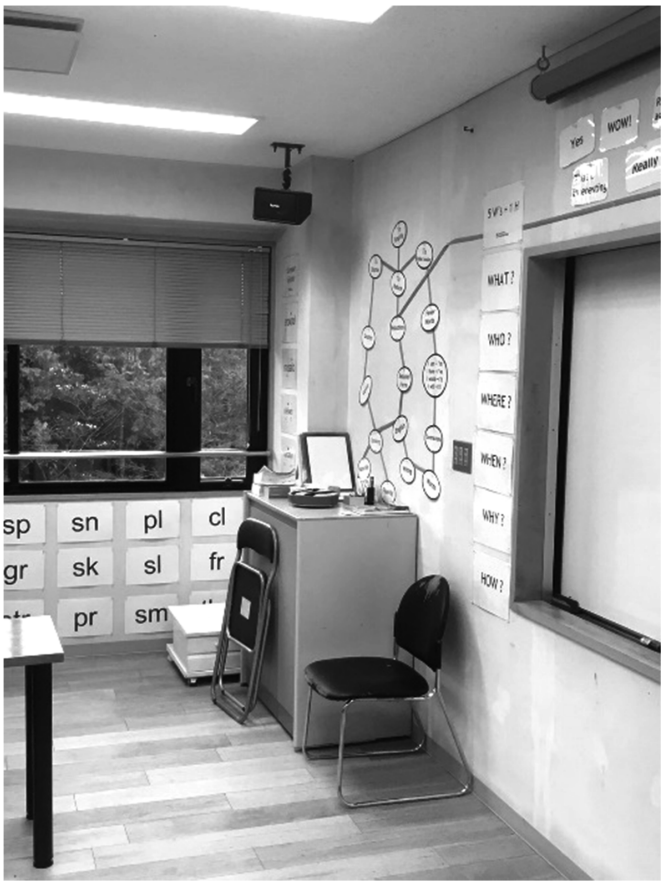


写真 5. SLV 教室の様子

ところで、SLV は基本的に長期休み以外は中学高校生を受け入れない。主たる受講者は成人であり、SLV 利用者の多くは個人利用よりも企業から派遣されている会社員である。企業の場合、突然辞令が降りて海外赴任となることもあるが、例えば今まで海外で過ごしたことがない社員がいきなり海外で生活するとカルチャーショックが大きく、トラブルの元にな

りかねないので、それを回避するためである。海外派遣直前の数週間を SLV で過ごし、英語や外国に纏わる文化を習得し、外国人とのコミュニケーションに慣れてから海外赴任を行うことで、現地での生活に抵抗感がなくなるのだそうである。即ち、SLV の存続の秘訣は、メインターゲット受講者を企業に勤める社会人に絞ることで、他の英語村と利用者獲得を競いあうことなく共存して運営出来ているのである。

表 6. SLV レッスンスケジュール

Ｄａｉｌｙ　Ｔｉｍｅｔａｂｌｅ			
8：30～	**Breakfast**	**14：45～15：45**	**Lesson 5**
9：15～10：15	**Lesson 1**	**16：00～17：00**	**Lesson 6**
10：30～11：30	**Lesson 2**	**17：30～**	**Dinner**
11：45～12：45	**Lesson 3**	**18：00～21：00**	**Bath Time**
12：45～	**Lunch**	**22：00**	**Lights Out**
13：30～14：30	**Lesson 4**		

5. 分析と考察

まず、すべての英語村に共通していたのは「日本語を介在せず、英語を英語で教える」モノリンガル教授法である。前提としてインストラクターは日本語を全く話さず、またほとんどのインストラクターはヨーロッパ系やアフリカ系など、容姿もステレオタイプ的な「日本人」とは異なる。レッスン時間は 30 分から最長 2 時間程度と施設によって違いはあるものの、ある場面を設定し（例、銀行で両替する、病院で症状を説明するなど）、実演することで英語を使用する教授法を用いていた部分は共通している。

SLV 以外は受講者がレッスンを選べるシステムになっているが、FBH のレッスンを申し込む時に、先方からのメールで「大学生なのでクッキングやジュエリー作りよりも、アカデミックな内容の方が良いのではないか」との助言があった。それを学生に伝えると「アカデミックな英語は大学で勉強している。学校で勉強出来ないレッスンを体験するのが英語村

のメリットではないだろうか」との返答があり、筆者も納得したのだった。つまり、英語村は学校教育では補うことが難しい「生活に必要な実用英語（サバイバルイングリッシュ）」を教えており、なるべく英語圏または外国に近い環境で受講者のアウトプット（特にスピーキング）を増やし、併せてコミュニケーション能力も向上させるところが魅力なのである。

文化の扱いに関しては、OEV は施設の造りと指導者も北米出身者が多く、そこに一歩足を踏み入れたらアメリカにいるかのような仕様になっている一方、FBH は名前が示す通り、建物の造り（ほとんどがイギリスから直輸入されている）が「あたかもイギリスにいるかのよう」に感じさせるのであった。OEV はアメリカ人指導者が中心であり、FBH の指導者はイギリス人かイギリス連邦王国出身に限られていた。一方、TGG と SLV は英語圏の一国には限定せず、外国のどこか異国情緒を漂わせることで「英語＝グローバル言語」であることを示していた。特に TGG は指導者の人種、国籍、宗教、年齢、ジェンダーなどのバラエティを配慮し、多文化共生を意識した仕様となっていた。

写真 6. FBH 学生が制作したジュエリー

英語指導者の質の保持について述べると、外国人指導者はビザの関係で最長でも 5 年を超えて日本に定住することが難しい。ゆえに入れ替わりが激しく、すべての施設で指導者養成の研修を行ってはいるものの、一定の質を保つことが課題となっている。その点、SLV は求人広告に頼らず、指導者のネットワークを通じて雇用を行うことで質を保証していた。四つの施設の中では一番規模が小さく、指導者数が少ない（専任 4 名、非常勤は時期によるが 1～5 名程度）からこそ実現可能なシステムなのかもしれない。

2019 年度に新しく出来た TGG の「オトナ TGG プログラム」を受講した学生四名[7]によると、約 20 名のエージェント（インストラクターの事）が 80 名近くの利用者に対応していたが、皆一様に積極的に利用者に話しかけ、英語で表現出来なくて困っている利用者を笑顔で励まして英語を教えていた。エージェントの指導に差がみられないことから、研修がうまく作用しているのだろうとの報告があった。

写真 7. オトナ TGG プログラムで薬を買う様子

2020 年東京オリンピック後の英語村維持の方策に関しては、TGG は東京都教育庁と締結している財政支援の枠組みに基づき，2028 年まで運営を継続する予定であるのに対し、他の施設は可能な限り存続する意向であった。なお、TGG は 2028 年以降も続けるか否かは、その時の状況によって決定するそうである。TGG、OEV、ならびに FBH が小学校～高等学校または大学までの学校教育機関との連携によって存続をはかろうとしている一方、SLV は主に企業との関わりを持ち、社会人を利用者のターゲットにすることで、巨額な施設運用費用を捻出する民間業者としての生き残りを構想していた。ここが政府主導で運営された韓国の英語村と日本の英語村の大きな違いである。ちなみに、東京都教育委員会が母体の一つとなっている TGG と、大きな教育機関が母体となっている FBH は学校機関との恒常的な関わりがあるため、利用者獲得に有利に働いているが、OEV はその点を継続的な課題とし

ているようであった。

ところで、筆者が今回共同研究者として実際にレッスンを受講した学生に「実際に英語村でレッスンを受講したら本当に英語力が向上するか」という問いを投げかけたところ、全員が「NO」と答えた。

英語村は普段学校で勉強するのと違って、英語を話したくなるような環境が整っており、アウトプットを重視しているのは良いのだが、繰り返し通い、習得した英語を蓄積して徐々に英語力を上げていくタイプの教育機関ではないので、英語村に行ったことで一時的に英語を勉強する動機がアップしても、その動機を存続させるのが難しいとのことであった。また、英語村は生きたコミュニケーションを重視している関係で、TGG のオトナ TGG プログラムや SLV 以外はプリントやノートがないので、使って覚えた英語を見直すことが出来ないのも欠点として挙げられていた。結局のところ、英語村を使用する目的と英語を勉強し続けた先に見えてくる目標が明確でなければ、「英語を使えて楽しかった」という感想から、更なる勉学へと前進しにくいのではないだろうか…というのが学生からの指摘であった。

一方、SLV で二泊三日の合宿レッスンを受講した学生がその 4 日後に大学内の TOEIC-IP を受けたところ、55 点スコアが上昇したという報告があった。このように、例えば英語の試験、留学、海外修学旅行や研修の直前に英語村で集中的にレッスンを受けることによって、試験の成績を上げたり、コミュニケーション能力を鍛えて海外に対する不安を払拭する機会として英語村を利用するのも良い方法であると筆者は実感した。

6. さいごに

二十一世紀初頭に起きた韓国の英語村ムーブメントは日本の高等教育機関にも影響を及ぼし、近畿大学 E-Cube、龍谷大学グローバルコモンズなど、正規講義外にも英語をはじめとした外国語を学べる施設が次々に建設されてきている。また、その発展形として国際教養大学の「イングリッシュビレッジ」のように、大学生が講師となり小学生から高校生に「英語で英語を教える」二泊三日の研修プログラムもある。

2019 年 12 月現在、Google で「英語村　日本」と検索すると、既出の英語村の他に佐世保のハウステンボス（遊園地）内で運営されているイングリッシュ・スクウェアや、群馬県前橋市の Chuo Global Village など、バラエティに富んだ英語村が現れる。韓国では英語村に税金が使われていたこともあり、一定期間後に多くが閉鎖され、また民間業者に売却されたりもした。一方、日本の英語村は最初から民間業者が主体であり、存続のために並外れた経営努力と施策が導入されている。学校教育機関ではなかなか実現できない「生きた英語」を民間業者が提供しており、児童から社会人まで幅広い年齢層を対象に英語教育を実践している。日本の国民全体の英語力を向上させる試みとして、行政機関はもっとこの動きを評価し、活用するべきではないだろうか。

ところで、英語の他に中国語も教えている SLV のように、英語一辺倒から多文化共生・多言語教育にシフトしているのも、今後の外国語教育の方向性を示唆しているようである。グローバル化に対応した外国語教育として、「産学官民」が一体となりその教育を一層に振興させる事が、2020 年の東京オリンピック後の真の課題であろう。

写真 8.　OEV のタイムズスクエアで雰囲気を楽しむ学生

注

1. 2019 年度多摩大学グローバルスタディーズ学部共同研究。共同研究者は大場智美ゼミナール４年生、久住祐葵、佐藤海人、坂本貴彦、ならびに３年生小野澤好、川村健太郎、橋本眞士、村田泰佑。
2. 株式会社 NOVA。
3. 【施設概要】 オオサカイングリッシュビレッジ（略称 OEV）
https://englishvillage.co.jp/pdf/group/school/01_outline.pdf
最終閲覧日 2019 年 12 月 30 日
4. その他、当時 4 年生ゼミナール所属の 3 名も含まれる。
5. プログラム受講者は小野澤好、川村健太郎、橋本眞士、村田泰佑。
6. Teaching English to Speakers of Other Languages の略。非英語話者に英語を教える教授法。
7. 小野澤好、川村健太郎、橋本眞士、村田泰佑。

謝辞

今回の研究調査にご協力頂いた OSAKA ENGLISH VILLAGE 職員の道海　望氏、広川　愛美氏、Tokyo Global Gateway 職員の谷口 正一郎氏、British Hills 職員の久保田　徹氏、合宿制語学学校ランゲッジビレッジ代表の秋山　昌広氏、ならびに上記施設の指導員、職員各位に心からお礼申し上げます。

参考文献

English Method（2019）DME　（ダイレクトメソッド・フォー・イングリッシュ）
https://english-method.com/ja/guide/dme.html
最終閲覧日 2019 年 12 月 30 日

OSAKA ENGLISH VILLAGE（2019）OSAKA ENGLISH VILLAGE EXPOCITY
https://englishvillage.co.jp
最終閲覧日 2019 年 12 月 20 日

Global edu（2013）【ハウステンボス】園内の一角にある「イングリッシュ・スクウェア」でわくわく英語体験
https://globaledu.jp/huistenbosch-340.html

合宿制語学学校ランゲッジビレッジ（2019）国内で海外留学体験？合宿制英会話学校 ランゲッジ・ヴィレッジ
https://languagevillage.co.jp/
最終閲覧日 2019 年 12 月 30 日

公立大学法人国際教養大学(2019）地域連携、英語教育
https://web.aiu.ac.jp/exchange/english-education/
最終閲覧日 2019 年 12 月 31 日

澁谷 鎮明・舛山 誠一・伊藤 裕子・中野 智章・財部 香枝（2014）「韓国英語村調査報告－日本からの語学研修・フィールドワークの可能性－」、*中部大学教育研究* №14、Pp. 81－86。

Jae, J. S. 2011. English as an official language in South Korea, global English or social malady*?, Language Problems & Language Planning*, 35(1), 2011, pp. 35-55.

「２１世紀日本の構想」懇談会（2000）「日本のフロンティアは日本の中になる：自立と協治で築く新世紀」、p.20。
https://www.kantei.go.jp/jp/21century/houkokusyo/1s.pdf
最終閲覧日 2019 年 12 月 29 日

Chuo Global Village　（2019）
https://www.cgv.jp/
最終閲覧日 2019 年 12 月 30 日

Tokyo Global Gateway（2019）Tokyo Global Gateway
https://tokyo-global-gateway.com/personal/
最終閲覧日 2019 年 12 月 25 日

日本政府観光局（2019）「年別　訪日外客数、出国日本人数の推移（1964 年-2018 年)」、「月別・年別統計データ（訪日外国人・出国日本人)」
https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/marketingdata_outbound.pdf
最終閲覧日 2019ｍ年 12 月 29 日

Received on 5 February 2020

付録1　OEV スケジュール表

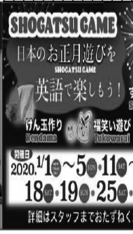
2019 Monday 12/30　A（初心者）- Beginner Level　B（中級者）- Intermediate Level　C（上級者）- Advanced Level　S -(全員)ーAll Levels　大人（16歳以上）- Age 16 or older

1F（1階）	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	1:00	1:30	2:00	2:30	3:00	3:30	4:00	4:30	5:00	5:30
Immigration (イミグレーション)	10:00-11:30															
Times Square (タイムズスクエア)				★Free Event★ SNOW CRAFT 11:30-12:30												
Travel Agency （トラベルエージェンシー）																
Airline （エアライン）						12:30-1:00		1:30-2:00								
Police Station （ポリスステーション）													3:45-4:15	4:30-5:00		5:15-5:45
Post Office（ポストオフィス）										2:15-2:45	3:00-3:30					
Transportation （トランスポーテーション）						12:30-1:00		1:30-2:00								
Bank （バンク）		10:15-10:45	11:00-11:30	11:45-12:15												
News Room （ニュースルーム）						12:30-1:00		1:30-2:00								
Broadway （ブロードウェイ）													3:45-4:15	4:30-5:00		
Clothing Store （クロージングストア）										2:15-2:45	3:00-3:30					
Cooking Studio （クッキングスタジオ）		10:15-10:45	11:00-11:30	SET PLAN												
Art Gallery (アートギャラリー)										2:15-2:45	3:00-3:30					
Las Vegas （ラスベガス）													3:45-4:15	4:30-5:00		5:15-5:45
Hollywood （ハリウッド）						12:30-1:00		1:30-2:00								
Restaurant （レストラン）										2:15-2:45	3:00-3:30					
The White House （ホワイトハウス）		10:15-10:45											3:45-4:15	4:30-5:00		5:15-5:45
2F（2階）	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	1:00	1:30	2:00	2:30	3:00	3:30	4:00	4:30	5:00	5:30
Dinosaur Park （ダイナソーパーク）		SET PLAN	11:00-11:30	11:45-12:15		★Special Event★ Digging for Fossils! 12:30-3:00										
Farm （ファーム）													3:45-4:15			
Gold Rush （ゴールドラッシュ）													3:45-4:15	4:30-5:00		5:15-5:45
Native American Village （ネイティアアメリカンビレッジ）		10:15-10:45	11:00-11:30	11:45-12:15												
Science （サイエンス）													3:45-4:15	4:30-5:00		5:15-5:45
Library （ライブラリー）																
Gym （ジム）			SET PLAN	11:45-12:15												

おしらせ

2019年12月31日・2020年1月1日限定！
レッスンチケット全て500円引き！
各種割引との併用不可

※年末年始の営業時間は通常と異なります。
2019年12月31日　10:00-5:00
2020年1月1日　1:00-6:00



付録２　FBH Highland Life レッスンスケジュール（サンプル）

Welcome to British Hills

Highland Life Group Course (Level 1, 2, 3) (２泊３日)

Tentative timetable: このスケジュールは暫定版です。調整後、レッスン内容など変更させていただく場合がございます。最新スケジュールは、到着時にご案内いたします。

Day 1	Day 2	Day 3
	Breakfast	Breakfast
		Check out by 08.50 and leave luggage at reception
	09.00–10.30 Lesson 1	**09.00–10.30** Lesson 5
	11.00–12.30 Lesson 2	**11.00–12.30** Lesson 6
	Lunch	*Free time* Walk-in lunch: The Ascot or Falstaff Pub is available
Time: arrive by BH shuttle *Free time* Walk-in lunch: The Ascot or Falstaff Pub is available	**14.00–15.30** Lesson 3	13.45: leave British Hills by third shuttle
16.00 Check-in, Orientation and Manor House tour	**16.00–17.30** Lesson 4	レベル別コース・レッスン例 (Level 1, 2, 3) Level 1: Travel English 1 / Describing People 1 Small Talk / Simple Past / Future 1 Talk about Yourself Level 2: Listening Skills 2 / Pronunciation Skills 2 Reading Articles 2 / Snooker / Feelings Level 3: Talk about the News / Critical Thinking Idioms & Sayings / Free Conversation
Course dinner with teacher	Course dinner with teacher	
Free time activities gym –22.00; snooker –22.30; pub –23.30	*Free time activities* gym –22.00; snooker –22.30; pub –23.30	